

第2次イラク復興支援派遣要員壮行会



岩見沢駐屯地はイラク人道復興支援に隊員を派遣させ、4月25日、駐屯地において派遣要員壮行会を行った。

イラク人道復興支援に参加

いわみざわ



発行所 隊友会岩見沢支部
岩見沢市西川町519-25
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷 北海道立福祉村
空知郡栗沢町最上350
☎(0126)45-2721

釧路第342施設中隊、中隊検閲受閲!

『平成16年5月7日～5月13日の間矢白演習場において練習検閲を受閲した。』



中隊検閲を終えて

平成十六年三月の第一施設群廃止に伴い、釧路の三四一施設中隊も十六年の歴史に幕を閉じ、三月二十九日付けで、第十二施設群の三四二施設中隊として新たなスタートを切りました。

今年度は十二群の検閲の年でも有り、早速、五月の連休明けの演習場定期整備の場を活用して検閲を受閲しました。

十二群各中隊の支援を受け、第三施設団作業隊を編成し、五月八日から十三日までの間、ハス

三四二施設中隊
三等陸佐 園林 栄喜

カッパ道拡幅作業をはじめとする各種整備作業を実施し、二概ね優良の評価をいただきました。

昨年、ひたすら足寄防火帯道路整備に専念していた時と異なり、作業地域が広域に拡散し、連日演習場を百キロ近く走り回りました。

有事の状況を考えるならば、このような状況になりうるのだと思います。

部隊の掌握の難しさを痛感した検閲でした。

矢白演習場は皆さんも存じのとおり、東西約二十八キロ、南北約十キロ、年間延べ約三十三万人が利用する日本最大の演習場であります。

しかし、近年の緊縮財政の中で、整備資材も乏しく諸所荒廃が著しいという話をよく耳にします。

これからも、演習場に最も近い施設科部隊として、演習場整備を通じ施設技能の向上を図るとともに、「愚直な施設科隊員」に一步でも近づけるように最善を尽くしつつ、矢白演習場の長期安定使用に貢献したいと思います。

今回の検閲もまだまだ改善の余地がありましたので、群検閲で万全の体制で望めるがごとく、新生三四二施設中隊一丸となり引き続き教育訓練に専念したいと思います。

本部管理中隊補給班検閲

平成十六年三月二十九日付で第十二施設群本部管理中隊第四科勤務を命ぜられ、不安一杯の中で勤務が始まりました。

岩見沢駐屯地の勤務環境にも少しずつ慣れ、仕事の内容を確認しながら生活し、配属以来初めての訓練検閲を五月七日から十日までの間、矢白別演習場において補給班の一員として受閲し、今までは違った内容の訓練であり、自分で何をして良いのか解からないまま、物品・燃料及び炊事のための現品の掌握・配布等様々な業務を実際の訓練の場で周囲の指導を受けながら、何とか無事に検閲を終了することができました。いつもは周囲で見ている物があって当たり前、やってほしい



補給班編成完結式 (16.5.7)

補給班訓練検閲に参加して

三等陸曹 野口 健一

ことがあれば調整をすればやってもらえる、そんな風に思っていたところもあったかもしれない。

しかし実際に自分でやってみて思ったことは、とても大変で難しいことばかりだと感じ、規則を知らなければ業務は進んでいかないと痛感しました。

この先まだまだいろいろいな経験をしてゆくとありますが、人になれ、環境になれ、仕事になれて少しでも出来る様にしてゆきたいと思います。

これからまさに訓練最盛期の時期を迎えていくわけですが、実際の訓練の中で何か一つでも自分のものに出来れば良いのではないかと思います。



計画見積もりを真剣な眼差しで見ている野口3曹(写真左)

中隊検閲を終えて

第三四二施設中隊

三曹 大久保敏一

慣れ親しんだ第一施設群第三四二施設中隊、入隊後、十数年間この中隊で仕事をしてきましたが、今年三月で廃編となり、今年度からは、第十二施設群第三四二施設中隊として動きだしました。

まだ十二群の仕事の流れもわからないまま、春季演習場整備と中隊検閲が一体化した、今までは少し違った検閲を受けることとなりました。

私は、グレーダー操縦陸曹として、また、第十二施設群第三四二施設器材中隊のグレーダー班の一員として、演習場内全路線の路面整形を実施しました。私はグレーダーでの作業に

関してはまだまだ半人前で、今回の作業に多少不安を感じていました。しかし、頼りになる先輩

と共に、作業に関してのノウハウを色々教わりながら実施することが出来、とても良い勉強になりました。

また、路面整形終了後、ハスッカブ道拡幅作業の現場へ向かい、グレーダーでの仕上げを任せられました。すべての路面整形終了後には私自身の良い経験、勉強、そして自信に繋がりました。

グレーダーに限らず、色々な機械のオペレーターとして、まだまだ覚える事、経験する事は沢山あると思います。

今年度からは十二群になったという事で、矢白別演習場に行く機会が増えると思います。これからも練度向上して行きたいと思っています。



ハスッカブ道拡幅工事前



ハスッカブ道拡幅工事後



見晴台工事

自衛隊退職者雇用協議会

岩見沢支部

事務局：岩見沢商工会議所内

支部長：武蔵信一

TEL：0126-22-3445

Gibraltar ジブラルタ生命

私たちはブルデンシャル・グループの一員です。ブルデンシャルは、126年の歴史を持つ米国籍大の金融機関であり、世界の顧客に幅広い金融商品・サービスを提供しております。

ジブラルタ生命保険株式会社
札幌南支社 岩見沢支部

〒060-0024 岩見沢市4番街4丁目 グレイスビル4F
TEL: (0126) 22-4875 FAX: (0126) 22-5734

隊友会岩見沢支部

平成十六年度定期総会を開催

隊友会岩見沢支部では、平成十六年五月十六日(日)十五時から平成十六年度定期総会をホテル・サンプラザにおいて開催されました。

総会は国家斉唱に始まり、物故者隊友及び殉職隊員に対する黙祷、支部長挨拶に続き、議長に市川泰博氏が選出され、議長就任挨拶の後に議案の審議に移りました。

議案は例年どおり平成十五年度事業報告、収支決算及び平成十六年度事業報告並びに収支予算書について審議され、総会出席者八十三名前前一致でこれを承認、可決されました。

定期総会終了後、表彰状贈呈(受賞者七名)第十二施設群長兼ねて岩見沢駐屯地司令淵之上様の講演、懇親会の運びとなりました。

懇親会には、岩見沢市長代理増子助役を始め、倉増連合会長北海道自衛隊退職者協議会岩見沢支部



平成16年度隊友会岩見沢支部定期総会

市川議長の審議状況

長、駐屯地から隊務多忙な時期にもかかわらず第十二施設群長兼岩見沢駐屯地司令淵之上様他十七名の現職隊員の方々をお迎えし、会員八十八名参加総勢百十一名で盛大に開かれました。会場では、隊友と現職隊員との会話、隊友同志の会話等で熱気ムンムン、和気藹々永遠と続きそうな雰囲気でありましたが、北部方面隊歌の合唱をもって、やつとお開きとなりました。

『平成十五年度表彰受賞者』

札幌地方隊友会会長表彰

- 桜井久夫氏
- 江島勇氏
- 川上和男氏

岩見沢支部長表彰

- 山本斌洋氏
- 金澤光雄氏
- 山田利文氏
- 大宮勝亀氏
- 鳥村昭彦氏
- 夏井昇氏
- 松井義秋氏



札幌地方隊友会会長より受賞する櫻井氏



黒田支部長から受賞する山本氏

閑中閑有

閑中閑有は、「本来忙中閑あり」であるがこれは私の造語、忙しさのうちでも暇をみつければ自分らしさを取り戻す、今日すり耗つた嫌の先がけを今夜中に整え明日の仕事に備える再生産に意味である。

定年退職後三度目の職場をやめ三年目を迎えるようとしている。只今は正にこの「閑中閑有」である。とりわけ趣味でもあれば日がない夜すがれに没頭し生きることの価値観を見出しせることもあってもいい。

趣味の何々で日々有意義に過ごすことなどあればこれ程良い事はないが全くない私は町内会の集まりや、老人クラブの面々に趣味は何かと聞かれ「趣味がないのが趣味」だと見栄きつたつもりだったが、これが災いしてかその後、誰からもこの種の話題もないし、おさそいもない。

こんな事を記していたら貴昇任試験の第二次(南恵庭駐屯地)当時の一施設群長との一問一答の中でこの種の件があり、同じようなことを言上し、これが命とりとなつたかは不詳だが後日の昇任の人事発令には該当なし、斯様な次第で往時振り返り冷汗百斗の感一人趣味は自分を助け、人も助ける趣味を通して人間性

人格をも高めることも必定。暇があれば、趣味を伸ばしそれが実益に繋がればこれ又よきことかと思う。

時折旧職場を訪ねると「元氣そうですね、今何しているの?」「今どこに行っているの?」「何でも仕事のことを聞いているのだと判り最近は何のためらいもなく「何もしていない」と感じられるようになった。

二、三人ヒソヒソと「未だ若いのにもつたないなあ...」等々かすかに聴きとれ一瞬働いていないのがさも悪いことかど錯覚してしまう。

憲法に国民の三天義務の一つに「勤労の義務」というのがあったなあと思いが今更と開き直る。いささか旧聞ではあるが、人生五十年、実稼働三十年と云われた時代を思い出した。

自衛隊に三十五年勤務し、その後なんだかんだで十五年各所働き、お手伝いをさせていた。だき五十年を過ぎた。自分なりにこれでよいのではと半分自己満足、半分諦観してある今日この頃である。

先日七十歳をむかえ、これを節目に心新たにし残る人生を有意義に過ごすべくせめて心の中だけでも本来忙中閑有の状態を具現し日々を大切にしたいと思う。昭和六十二年三月退職

山崎 弘

あの人は今――

定年後の三年間を振り返って

早いもので自衛隊を退職して早くも三年の年月が過ぎ去りました。

この三年間、無我夢中で働いてきた三年間でした。

幸いこの厳しい経済状態の中で、岩見沢清丘園に就職を斡旋して頂いたおかげで再就職することができ、岩見沢自衛隊援護センター様には大変感謝している次第です。

さて私はこの厳しい不況の時代を生き抜くために次の三点に着意し三年間の反省と今後の自己目標として頑張っていく所存です。

第一に自衛隊同様、安心して働ける職場を確保すること、幸い自分は自衛隊時代に実施していた医療の仕事を定年後も続けられる事が、大変良かったことです。

昔は身を助けるとは良く言ったものです。自衛隊時代得た知識・技術は定年後もの仕事をやる上で大変貴重な財産になったと定年後再就職して再認識させられました。

第二は健康体を維持することが大切です。

どんなに素晴らしい仕事を戴いても、健康でなければその仕事に専念することは不可能です。

定年後は自衛隊時代のような体力錬成する時間や、ましてや病気の治療している余裕はありません。

まさに健康との戦いであります。自分の健康は自分で守るしかないことをつくづく思い知らされている現在です。

第三は目標を持つことです。定年後の五年や十年はあつと言間に過ぎ去ります。

第二の人生、第三の人生をどう過ごすかは各人により、それぞれ異なりますが、どう生きようとも計画性をもって過ごして行けばいいと思います。

現在の職場は六十五歳まで働くことが可能性であり、大変感謝しております。

今後は病気、体力の低下、リストラ等々様々な問題が出てこないとも限りませんが、それらの困難に負けないように自衛隊時代に培った体力・気力・精神力を集中して第二、第三の人生を送って行くことを今後の自身の目標にペンを置きたいと思えます。

自衛隊OB

赤井 満



一棟一心

素朴で、安く、安心して飲める店です。お通し、ポリウムあります。飲み放題・歌い放題で一人様2,000円。宴会・二次会に！50人様入れます。幹事さん・ご利用をスタッフ一同心よりお待ちしております。

スナック 夏花

岩見沢市3条西1丁目 長谷川町子



GEエジソン生命

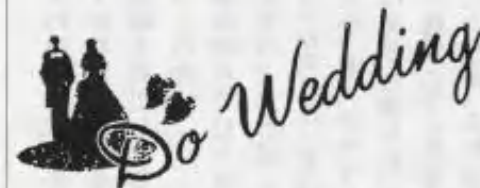
あなたに[Best]を考える。

GEエジソン生命保険株式会社

岩見沢駐屯地 常駐社員：田村純子

TEL 0126-22-1001(内線338)

お二人の立ち立を、真心のおもてなしでご祝福いたします。



IWAMIZAWA HEIANKAKU

TEL 0126-22-4561



明治安田生命

お客様の「いつも身近にいる会社」をモットーに、私たちはこれからも、安心をお届けしてまいります。

担当営業職員

村山 利江
伊藤 佳代子

明治安田生命 岩見沢営業所
〒068-0024 岩見沢市4条西1
電話：0126-22-1637
FAX：0126-22-7340

木造注文住宅

東日本ハウス

http://www.togashinohon.co.jp/

東日本ハウス 札幌支店

〒063-0803 札幌市西区二十四軒3条4丁目1-8
☎(011)642-2131 0 FAX(011)642-2299



千葉電気工事株式会社

代表取締役 千葉 嘉男

岩見沢市東山町22番地71
電話(0126)24-4567番

あなたと生きていく 保険。

保 険 王

朝日生命

岩見沢営業所
電話(0126)

22-0207番

三井グリーンランド ホテル ザンプラザ

ご婚礼スーパーセレクトプラン 「Only one」発表!

ご宿泊のお客様は遊園地入園無料!
(宿泊当日と翌日の2日間)

三井グリーンランド 遊園地・ホワイトパーク



〒068-0004 岩見沢市4条西1番
0126-22-4000 FAX 0126-23-7796



岩見沢市東山町1016番地

新任地にて

第三三五施設中隊

陸士長 引地 秀也

私は、今年の四月から新しくこの第三三五施設中隊に配属になりました。

前の部隊が改編になり初めて岩見沢駐屯地で勤務することに不安と緊張を隠せない日が続きました。

しかも、結婚して間がなかったということもあり、いろいろと忙しく大変な思いをしました

が、五中隊の皆さんに恵まれ、助けられていろいろな事を教えていただき本当に感謝しています。今年目標として、陸曹候補生合格があります。

勉強の面でまだまだ足りない所があるので、これから次の試験が「ラストチャンス」の意気込みで頑張りたいと思っています。

最後に、まだ自衛隊生活が始まったばかりですが、こういう経験をさせて頂いたことを光栄に思い、これからも精一杯努力して頑張っていきたいと思えます。

入隊して

第十二施設群教育隊

新隊員前期課程

二班二等陸士 大柳 忠景
四月四日の入隊式、多くの方々に見守られて、はれて自衛官の仲間入りをしました。

自分にとっては、社会人としての第一歩でもあります。親元を離れ自立、生活環境の変化など、数多くの不安を胸にして始まった自衛官としての生活。最初は自衛官としてやっ

ていけるのか自信がありませんでした。これまで様々な仕事を経験して、まがりなりにも様々な勉強をしてきたつもりです。ですが、自衛隊という大きな組織の中における、個人の役割が全く想像もつくはずがなく、ただ不安でいっぱいでした。自衛隊では、辛く厳しい訓練があるという話をよく耳にします。自分自身もそのように感じていました。しかし、自衛官として生活をしていくうちに、そのような厳しさの意味がだんだんと理解できるようになっていきました。

それは規則正しい生活であったり、人に対しての礼儀であったり、ごく一般的で当たり前のことなのですが、その当たり前のことが意外とできていなかったりします。自分は自衛官となつて、この事がとても大切なことだと実感し、それ故の辛く厳しい生活環境が存在するのだと思います。

そして社会人として、自衛官



第三三五施設中隊

士長

倉嶋 広大

美結
五月九日



第三三五施設中隊

三曹

及川 和博

亜美
六月二十八日

結婚おめでとう



第三三五施設中隊

三曹

牧賀 隼人

加宅
三月十三日



第三〇二坑道中隊

三曹

今 誠将

美穂
六月十六日



群長との記念撮影 (筆者は3列目の左から6番目)

永年の勤務

ご苦労様でした

【本部管理中隊】



陸曹長
香山 英明
勤務先
明昌ネットワー

ク(株)



准陸尉
渡邊 政治
勤務先
天使幼稚園



准陸尉
天野 憲一
勤務先
岩見沢河川巡視センター



【業務隊】
陸曹長
八木 橋
勤務先
共栄地建

豊

人事往来

昇任

【第十二施設群】七月一日付

二等陸尉へ

群本部

三等陸尉 松岡 潤

第三三六施設中隊

三等陸尉 吉田 泰輔

三等陸尉へ

本部管理中隊

准陸尉 嘉副 明人

第三〇二坑道中隊

陸曹長 伊藤 重雄

准陸尉へ

第三三五施設中隊

陸曹長 西森 敏夫

第三四二施設中隊

陸曹長 小澤 博幸

陸曹長へ

第三三五施設中隊

一等陸曹 小林 伸広

第三三六施設中隊

一等陸曹 柴田 周二

第三〇二坑道中隊

一等陸曹 田代 徳久

一等陸曹へ

本部管理中隊

二等陸曹 松葉 廣和

二等陸曹 田河 俊一郎

第三三七施設中隊

二等陸曹 斎藤 武彦

第三一二施設中隊

二等陸曹 秋田 好胤

二等陸曹へ

第二次イラク復興支援群

三等陸曹 角田 誠

三等陸曹 川上 泰央

本部管理中隊

三等陸曹 野口 健一

三等陸曹 七戸 勢

第三三五施設中隊

三等陸曹 浦東 勳

第三三六施設中隊

三等陸曹 中山 智輝

第三四二施設中隊

三等陸曹 寺島 達也

三等陸曹 遠藤 直樹

三等陸曹へ

第三三五施設中隊

陸士長 永井 誠

陸士長 藤本 直人

第三三六施設中隊

陸士長 井田 浩史

陸士長 藤原 雅樹

第三三七施設中隊

陸士長 政氏 顕

陸士長 吉田 崇

第三四二施設中隊

陸士長 吉永 真

第三一二施設器材中隊

陸士長 松並 拓矢

第三〇二坑道中隊

陸士長 佐々木 力弥

【第二直接支援中隊】七月一日付

准陸尉へ

陸曹長 井上 博登

陸曹長 松田 務

三等陸曹へ

陸士長 坂井 浩太郎

【業務隊】七月一日付

二等陸尉へ

三等陸尉 小見 一仁

陸曹長へ

一等陸曹 小笠原 孝好

一等陸曹 古庄 浩之

二等陸曹へ

三等陸曹 岩田 孝司



こんにちは



群本部

一尉

甲斐 昌宏

次女 楓華

六月十一日



本部管理中隊

二尉

島崎 祐樹

長男 智也

四月二十七日



第三三五施設中隊

一尉

岡本 彰博

長男 龍樹

四月三十日



第三三五施設中隊

二曹

田岡 師範

長男 勇武

五月十三日



第二直接支援中隊

三曹

菊池 克

長男 陽向

四月九日



第三〇二坑道中隊

三曹

富石 巖

長女 桜

六月十三日



第三四二施設中隊

三曹

土屋 涼繁

長女 凛乃

四月二十三日

